

⑦ウェザーストリップの取り付け

- ・ウェザーストリップが5本同梱されています (L=2075mm)。
- ・上枠・左右縦枠・下枠の順番で枠内の寸法に合わせてカットしてください。
- ・ウェザーストリップは四方に取り付けます。

【ポイント】上両隅は留加工で、縦枠の下端は少し長めにカットし、差し込む部分を少し切り取り隙間があかないようにウェザーストリップを取り付けてください。



⑧ブリックモールドの取り付け

- ・各現場の指示に従いちり寸法を合わせブリックモールドを取り付けます。
- ・縦枠上枠共、適正なちり寸法でカットしておきます。

【ポイント】ブリックモールドのコーナー部（留部）の段差発生を防ぐ意味で上部よりビスで固定してください。  
ブリックモールドの傷や開閉時の摩擦音を防ぐ為、  
丁番とブリックモールドは必ず隙間を空けてください。

- ・ブリックモールドを枠側躯体側に隙間やグラツキの無い様に固定します。

打ち込み跡が目立ちにくいよう、フィニッシュネイルの使用をお勧めします。

最後に丁番の芯を戻して、ドアを取り付けます。



納まり図

ディステイクション玄関ドア 納まり図  
(片開き/両開き/親子) 2x4工法



ディステイクション玄関ドア 納まり図  
(片開き/両開き/親子) 2x6工法



木製玄関ドア/樹脂枠納まり図  
(片開き/両開き/親子) 2x4工法

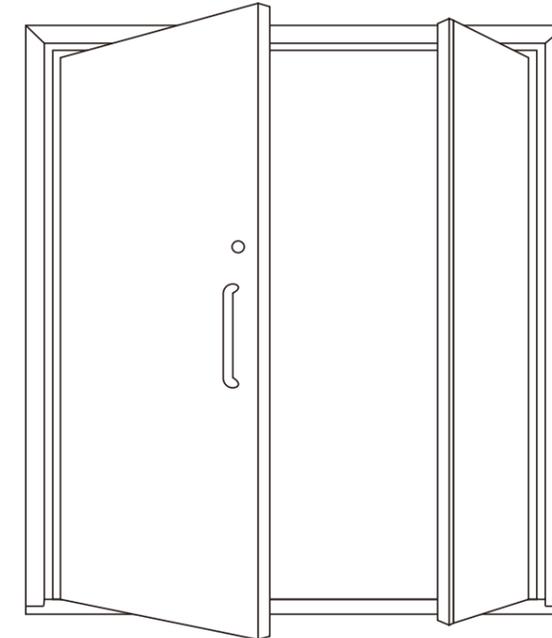


木製玄関ドア/木製枠 納まり図  
(片開き/両開き/親子) 2x4工法



PreSet Door エクステリアドア 施工説明書

両開き / 親子ドア ノックダウン仕様



注意事項

- ・開梱時に種類と数量を確認してください。
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、弊社営業担当者までご連絡ください。
- ・玄関ドア以外への転用および改造は行わないでください。
- ・ねじ止め箇所は、指定してあるねじを全て確実に止めてください。
- ・ドア本体は重いもので約 50kg あります。建て込みの際には三人以上で扱うなど、取り付けには十分ご注意ください。
- ・シーリング（コーキング）は、塗布箇所を十分に清掃し、指定箇所全てを確実に行ってください。
- ・組立・取り付け完了後、開閉作動や施錠が正常に行うことができること、および使用上の不具合がないか確認してください。
- ・施錠した状態で枠とドア間等に隙間が生じていないか、ご確認ください。  
不具合がある場合は確実に建て付け調整をしてください。
- ・引渡し前に清掃を行い、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。

塗装済みの場合

- ・タッチアップペイントが同梱されています。高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- ・ご使用の直前に色の沈殿等がなくなるまでよく混ぜて、早めにご使用ください。（時間が経つと硬化します。）

梱包内容

標準セット	梱包内容	数量	備考	確認
ドア	ドア	2 枚	ボトムウェザーストリップ付	
ドア枠	ドア枠	3 本	樹脂製 2x4/2x6 又は木製 (上枠 1 本 縦枠 2 本)	
	ウェザーストリップ	5 本	ドア枠、アストラガル、ボトムシルに使用	
	ブリックモールド	3 本	樹脂製 又は木製 (上用 1 本 縦用 2 本)	
	ボトムシル	1 本		
	平丁番 (長ビス 2 本)	6 枚	ゴールド / シルバー / アンティークプラス / ブラック	
	アストラガル	1 本	樹脂製 又は木製	
	フランス落とし	2 本	ゴールド / シルバー / アンティークプラス / ブラック	
	組立・躯体取付用ビス	24 本		
	タッチアップペイント	1 ボトル	塗装済みの場合のみ	

## 施工手順

## ①上枠と縦枠の取り付け（定寸カット・欠き込み加工済み）

三方枠を組み立てます。

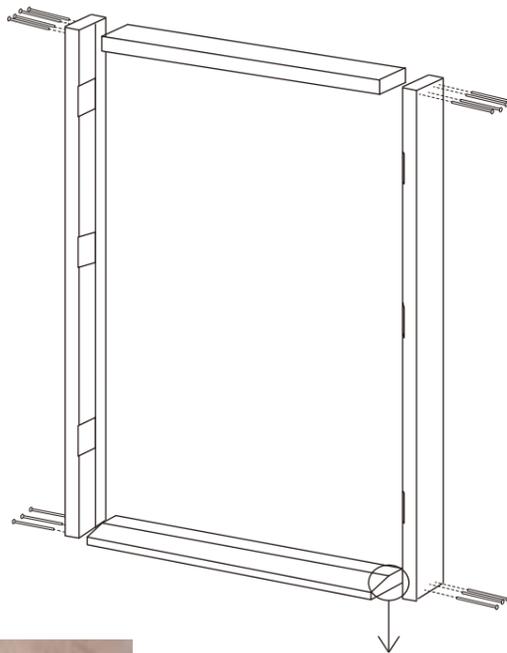
- 上枠と縦枠は片側4本のビス（65mm）で固定します。

【ポイント】・縦枠の上枠が取り付け部分（戸当り部分）に一部欠き込みが施してあります。  
・縦枠に4ヶ所の下穴が開いています。

- 縦枠の上枠が取り付け部分にシリコンコーキングを打ちます。戸先側、吊元側共に同じ様にビス止めします。

【ポイント】・接着目的にシリコンコーキングを打ちますが、塗装を考慮しシリコンコーキングがはみ出ない様に注意してください。

戸当り部分が縦枠、上枠共段差ができないよう注意してください。



## ②ボトムシル（沓摺り）の取り付け

【準備】雨水の侵入を防ぐためボトムシル（樹脂製）とアルミンカバーの間にシリコンコーキングを打ちます。



- ボトムシルと縦枠は片側3本のビス（65mm）で固定します。（下穴有り）
- 縦枠のボトムシルが取り付け部分にシリコンコーキングを打ちます。戸先側、吊元側共に同じ様にビス止めします。

【ポイント】・縦枠に3ヶ所の下穴が開いています。

・接着目的にシリコンコーキングを打ちますが、塗装を考慮しシリコンコーキングがはみ出ない様に注意してください。

※戸当り部分が縦枠、下枠共段差ができないよう注意してください。



## ③主開閉側ドアの準備

- 丁番を付属のビスを使用しドアに固定します。（下穴有り）
- 開き方向を確認し丁番の向きを決めてください。

【ポイント】・丁番の上下を確認し取り付けてください。

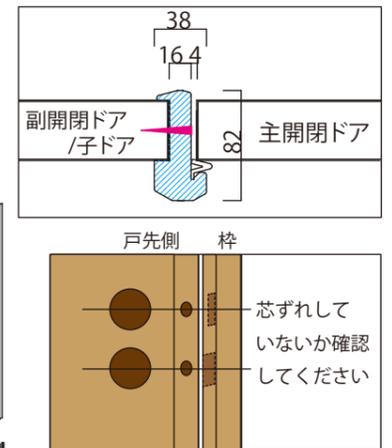
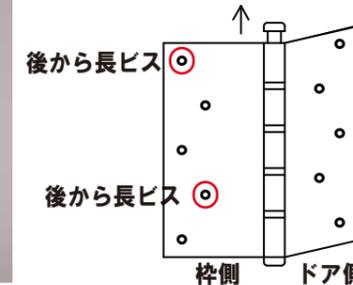
・取り付け位置（丁番の出入り）を必ず合わせてください。



## ④副開閉側ドアの準備

- ③と同じ要領で丁番を固定する。

- アストラガルは、フランス落としと干渉しない様上下端から20cmのところをビスで固定し、そこから30cmピッチでビスで固定します。ビス頭が見えますので、1mm程度深くビスを打ちパテ埋めするか、ビスキャップをご用意いただき施工してください。



## ⑤ドアと枠の取り付け

- 丁番の固定位置が縦枠に欠き込みされています。付属のビスを使って両方のドアを固定します。

【ポイント】各丁番5本ビスで固定しますが、上から1番目と4番目には長ビスを使用しますのであけておきます。

- フランス落としの受けは加工されていません。ドア枠を躯体に固定してから現場に合わせ、上下受け加工してください。
- 丁番の芯を抜いて、ドアと枠を外しておきます。間のリングをなくさないようにご注意ください。

## ⑥枠を躯体に取り付け

- 躯体と枠のクリアランスにスペーサーを入れます。

両側の丁番部等に7ヶ所程度（丁番の下とその中間、上下のコーナー部等）枠外寸法に合わせてスペーサーを固定します。

- 組み立てたドア枠を躯体開口部に入れます。

【ポイント】枠の室内側の面を石膏ボードの面と平らになるように、室外側から当て木を当てて軽く叩いて調整します。

- 主開閉側のスペーサーの部分にビスを打ち固定します。

この時ビス頭が隠れるようにウェザーストリップで隠れる部分に打ちます。

- 各丁番の上から1番目と4番目に付属の長ビスを打ち、躯体まで止めつけます。

【ポイント】ドアの重みによる枠の変形・ドアの下がり等の不具合が発生する恐れがありますので、必ず長ビスを躯体に固定してください。

- 主開閉側の固定が終わったらボトムシル（沓摺り）が水平になるように調整します。

- 副開閉側を固定する前に枠内寸法を確認し、必要ならスペーサーを追加してビスで固定します。

【ポイント】枠内寸法は必ず上から下まで数ヶ所確認し、合わせてください。

【枠の取り付けについて】枠を取り付ける際には、以下の寸法をお守りください。

